

古地図を片手に幕末の山口を歩こう！×  
毛利敬親の参勤交代弁当を食べよう!!

山 田 稔・園 田 純 子

Let's walk through Yamaguchi at the end of the Tokugawa shogun with an old map!×  
Let's eat a lunch box of Mohri.Takachika in Sankinkōtai travel!!

Minoru YAMADA Junko SONODA

山口県立山口博物館研究報告

第45号(2019年3月)別刷

Reprinted from

BULLETIN OF THE YAMAGUCHI MUSEUM

No.45(March 2019)



## 古地図を片手に幕末の山口を歩こう！× 毛利敬親の参勤交代弁当を食べよう!!

山田 稔<sup>1)</sup>・園田 純子<sup>2)</sup>

Let's walk through Yamaguchi at the end of the Tokugawa shogun with an old map ! ×  
Let's eat a lunch box of Mohri.Takachika in Sankinkōtai travel !!

Minoru YAMADA<sup>1)</sup> Junko SONODA<sup>2)</sup>

### はじめに

本稿は、明治150年記念特別展「激動の幕末長州藩主 毛利敬親」（平成30年7月13日（金）～8月26日（日）、主催：ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会、企画監修：山口県立山口博物館、会場：山口県立美術館）の関連イベントとして開催した標記講座の実施報告である。

古地図をもとにした街歩きは、古地図という歴史資料を通して、その時代空間を再現しながら辿ることで、身近に歴史を感じ取れるとともに、地理的環境を知ること、その地域に対する理解をより深めることができる点で効果的である。近年、江戸時代以降の古地図を利用した史跡巡見や街歩きが人々の関心を集めているのも、この点が大いに影響している。

山口県では、平成17年度から「絵図を片手に街を歩こう」（山口県文書館）、同28年度からは「古地図片手に街歩き」（山口県立山口博物館）も加わり、いずれも好評を博している。

一方、山口商工会議所山口名物料理創出推進会議が提唱した「歴食」＝「歴史的なストーリーを有した、価値ある食」（歴食JAPAN事務局）も、歴史分野関係の魅力的なイベントとして各地で人気の高まりを見せている。

平成30年は、明治150年記念の節目であり、同記念特別展の関連イベント用に、上記の古地図をもとにしたウォーキングと歴食という2つの異なる内容を組み合わせた、今までにない新しい形の講座として企画したものである。

### 1 古地図を片手に幕末の山口を歩こう！

まず、ウォーキング部門である「古地図を片手に幕末の山口を歩こう！」の内容を紹介してみたい。

主催は、山口県立山口博物館と山口県立大学、山口市菜香亭、やまぐち歴食研究会（会長・

---

1) 山口県立山口博物館（歴史）

2) 山口県立大学看護栄養学部栄養学科准教授

山口大学教育学部教授五島淑子)で、ウォーキング部門を県立山口博物館が、歴食部門を山口県立大学とやまぐち歴食研究会が、参加受付と会場準備を山口市菜香亭が担当した。また、歴食調理に防長苑(山口市)の協力をいただいた。講座の開催要項は下記のとおり。

- 1 趣 旨 明治150年記念特別展「激動の幕末長州藩主 毛利敬親」(平成30年7月13日～8月26日、会場：山口県立美術館)の開催に合わせ、江戸時代の古地図をもとにした山口の幕末史跡探訪と、復元された藩主毛利敬親の参勤交代弁当を味わう、ウォーキング&グルメイベントを開催します。歩いて、見て、味わって、長州藩幕末維新史を学べる絶好の機会です。
- 2 日 時 平成30年7月21日(土) 9時30分～13時00分
- 3 場 所 山口県立美術館講座室～旧山口藩庁門・香山墓所～十朋亭維新館(特別内覧)～山口市菜香亭(途中バス移動あり)
- 4 主 催 山口県立山口博物館
- 5 共 催 山口県立大学、山口市菜香亭、やまぐち歴食研究会
- 6 協 力 防長苑
- 7 講 師 山口県立山口博物館 学芸課長 山田 稔  
やまぐち歴食研究会会員
- 8 対 象 小学生以上(小学生は保護者同伴)
- 9 定 員 ①ウォーキング+歴食コース25名、②歴食のみコース20名
- 10 参加費 ①②ともに1名2,000円(食事代等含む)
- 11 申込先・申し込み方法 山口市菜香亭(083-934-3312)  
平成30年7月6日(金)9時00分～ 電話受付(1回の申し込みにつき2名様まで。定員に達し次第終了)※詳細は山口市菜香亭ホームページで。
- 12 問い合わせ先  
〒753-0073 山口市春日町8-2  
山口県立山口博物館 (担当・山田) TEL (083) 922-0294  
〒753-0091 山口市天花1-2-7  
山口市菜香亭(担当・藤村) TEL (083) 934-3312



毛利敬親展会場(山口県立美術館)



旧山口藩庁門前(パネルを使用した解説)

受付開始後、ウォーキング+歴食コースはすぐに満員、歴食のみコースも追って満員になった。猛暑日が予想される時期の開催に鑑み、参加者の安全確保と移動時間の短縮を図るため、山口県立大学の協力で途中でマイクロバスを使用した。

出発点の山口県立美術館講座室で簡単なオリエンテーションの後、パークロードから旧山口藩庁門、香山公園までは徒歩で移動。そこから平成30年9月オープンの「十朋亭維新館」（特別内覧）と歴食会場の「山口市菜香亭」へはバスで移動した。


見学先の幕末維新関係史跡・施設は、①山口明倫館文学寮跡（県立美術館構内）②旧山口藩庁門（県指定有形文化財）③山口御屋形跡（県庁構内）④勅撰銅碑（香山公園）⑤旧萩藩主毛利家墓所（毛利敬親・元徳、同公園、国指定史跡）⑥萩往還（国指定史跡）⑦十朋亭維新館（山口市大殿小路）⑧山口市菜香亭。②では、通常は閉められている大扉を特別に開放してもらった。

使用した古地図は「幕末山口市街図」（明治初年、山口県文書館蔵）で、携行の便を考え、A4横長変形、内三つ折、両面カラー印刷とした。デザイン・編集は山田が担当した。これとは別に、全体解説用にB1サイズの写真パネルを複数用意し、旧山口藩庁門・山口御屋形跡の重点ポイントで使用した。参加者各自が手元で見えるもの、全員で見えるものを使い分け、解説を効果的にすると同時に、手持ち資料の煩雑さを解消した。

携行資料の形態については、長年の試行錯誤の結果たどり着いた、今回の内三つ折（もしくは折本風）が最適と思われる。ちなみに、江戸時代に長州藩絵図方が制作した街道絵図「行程記」も折本であり、先人の知恵に学ぶこと大である。



旧山口藩庁門前で集合写真（中央の大扉は特別開放）



「山口(旧国)」(山口市、昭和11年) / 山口県文書館蔵

文久3年(1863)、長州藩は政治の拠点を萩から山口に移しました。これにともない、新しい藩庁(山口御屋形)をはじめとした施設が建ち、山口明倫館など教育施設も整備されました。激動の幕末期、藩主として長州藩政の崩壊を行った毛利敬親は、明治4年(1871)3月に死去し、香山墓所に祀られました。

今回は、明治150年記念特別展「激動の幕末長州藩主毛利敬親」に関連し、敬親ゆかりの史跡を、幕末の古地図を片手に探索します。再現された毛利敬親の参勤交代弁当も味わって下さい。

この機会に、幕末維新史を身近に感じてみましょう！

共催：山口県立大学、山口市菜香亭、やまぐち歴史研究会 / 協力：萩原高

古地図を片手に  
幕末の山口を歩こう！

×毛利敬親の参勤交代弁当を食べよう！

2018  
明治  
150



山口県立山口博物館  
Yamaguchi Museum

山口市春日町8-2  
083-922-0294

http://yamaguchi.pref.yamaguchi.jp

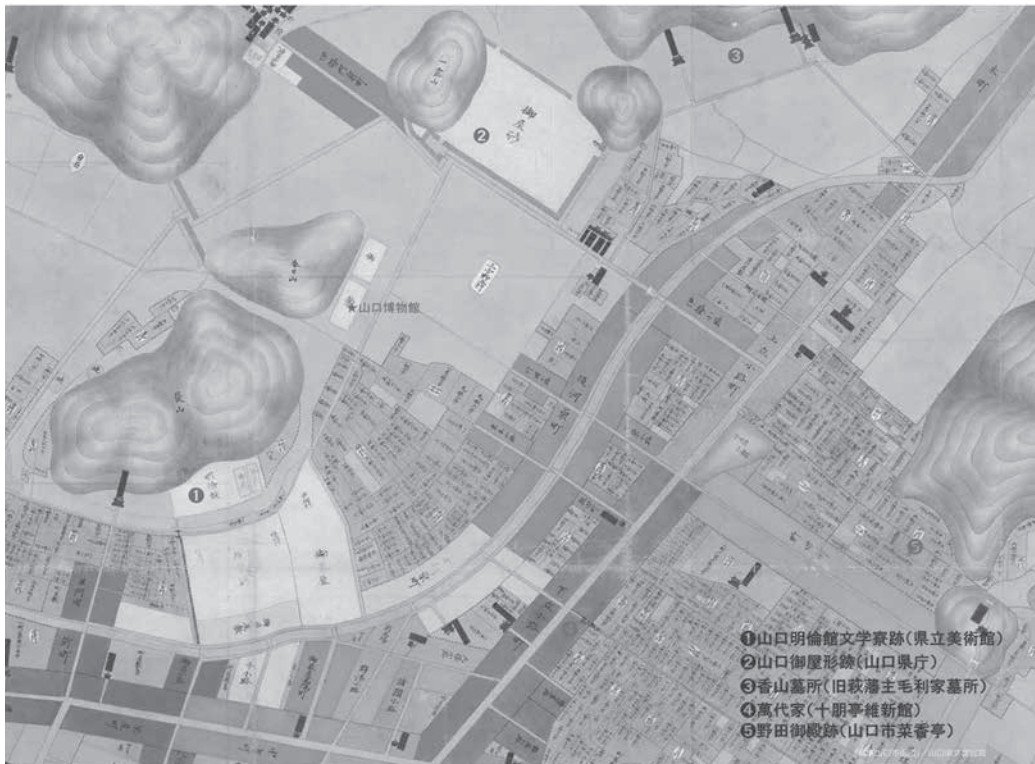
2018.07.21 Sat.

9:30	巡見ポイント解説(講座室)
9:40	県立美術館出発
10:00	旧山口藩庁門周辺
10:40	香山公園 旧萩藩主毛利家墓所 ※バス移動
11:00	十朋亭維新館(特別内覧) ※バス移動
11:30	山口市菜香亭
	毛利敬親の参勤交代弁当を食べよう！！
13:00	山口市菜香亭(バス出発→県立美術館)

※時間は予定です

MEMO

- 安全第一で、スムーズな移動にご協力ください。
- 熱中症対策のため、水分補給をしっかりと行ってください。
- 天候等により、予定の一部を変更する場合があります。



講座配布資料(上が表面、下が裏面)

参加者の協力もあり、概ね時間通りに進行し、歴食部門の会場である山口市菜香亭に予定どおり到着後、やまぐち歴食研究会に講師をバトンタッチした。

## 2 毛利敬親の参勤交代弁当を食べよう！！

次に、グルメイベントとして「毛利敬親の参勤交代弁当を食べよう」と題した歴食部門を紹介する。

今回イベントで取り上げた毛利敬親の参勤交代弁当は、山口の歴食として歴食ジャパンサミット第2回大会in益田（平成29年2月26日・島根県益田市島根県芸術文化センターグラントワ）に出展するため、平成28年度に山口県立大学研究創作活動の助成を受けて再現に取り組んだものである。なお、今回のイベント開催にあたっては、ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会からの受託研究として山口県立大学調理学研究室が助成を受け、やまぐち歴食研究会とともに、再現する弁当及びその弁当を基にした市販用参勤交代弁当のレシピをブラッシュアップし、再現料理のレプリカ並びに展示用ポスターの作成、当日のイベント運営を行った。

『防長史談會雑誌』には、毛利敬親が参勤交代の際に食した弁当のエピソードが、兼重慎一により語り残されている<sup>1)</sup>。これを基に再現弁当の献立内容を定めた。また、江戸時代に刊行された献立及び作り方の書かれた料理本をまとめた『日本料理秘伝集成』<sup>2)</sup>、そのほか『聞き書山口の食事』<sup>3)</sup>や『日本料理由来事典』<sup>4)</sup>等を参考にして調理方法を選定した。なお、再現した弁当は彩りが少なく、そのままでは市販するには適さないため、再現弁当の献立であるわかめむすび、蒸し蒲鉾、椎茸・こんにゃくの煮物、奈良漬のほかに、食材のバランス、外観、費用等を検討して料理を加え、市販用として提供する弁当を完成した。

下は再現弁当と市販用に開発した弁当である。また、イベント当日に参加者へ提供する弁当に使用したパッケージ（弁当カード）を次頁に示した。



市販用に開発した“毛利公の参勤交代弁当”



毛利敬親の参勤交代弁当（再現）

市販弁当にはパッケージが必要となる。そこで、山口県立山口博物館所蔵の「温故東の花 第四編 旧諸侯参勤御入府之図」を印刷し、“毛利公の参勤交代弁当”と弁当名を付した弁当カードを作成して、弁当の上面にのせることにした。弁当カードの裏面は、イベント当日に提供する弁当の献立（お品書き）と、弁当再現の参考にした『防長史談會雑誌』の該当部分を掲載した。



平成三十年七月二十一日

一  
●●●

毛利公の  
参勤交代弁当

飯 わかめむすび  
十六穀米むすび

蒸し物 蒸し蒲鉾  
だし巻き卵

煮物 椎茸 蒟蒻 にんじん  
さつまいも かぼちゃ


漬物 筍 昆布 絹さや  
奈良漬 たくあん  
茄子のからし漬

あしらい ちしや

毛利敬親公の  
参勤交代弁当(再現)

「私などは君側を勤めませぬで平日夜の事は御見受け申し上げませぬか、江戸御参勤の御道中令どは御供致しましたが、御道中の御辨當などは誠に小さく入子重でござりました、其の重の中に眞の桃位の御握飯が五ツ入れて一段は何時も椎茸、凍蒟蒻蒲鉾と云ふ位を物で、今一段は奈良漬で此はおさまりの様に思ひます、御晝宿で召上つて終御立をさると云ふ様を事でござりました。」

〔防長史談會雑誌 第三十二号〕  
長藩財政史談「萩兼重撰一袋詰 大正元年」



写真提供  
やまぐち歴史研究会

参加者に提供した弁当のパッケージをかねた弁当カード  
(上が表面、下が裏面)



イベント当日は、食事のみコースの参加者が受付を終えた後、ウォーキングに引き続き食事コースに参加するグループが合流する形となった。来賓・関係者を除き、イベント参加者は計42名であった。なお、イベント終了時に参加者へアンケートの協力を依頼した（回答者数42）。

会場となる菜香亭2階会議室には、壁面を使って参勤交代弁当の再現及び商品化した弁当に関するパネルを展示した。また、パネルの前面左側には再現弁当と市販用弁当のレプリカを、右側には参加者に供した弁当、飲み物（茶・サイダー）、菓子（毛利公）等を見本として配した。弁当のレプリカは、山口大学教育学部美術教育教室中野研究室に依頼し、石粉粘土とアクリル絵具を用いて作成した。レプリカは、実物大で詳細に作られており、展示パネルや弁当のレプリカを作成したことにより、今後毛利公の参勤交代弁当に関連するイベント開催時での活用も可能となった。下は、会場入り口付近に設置した展示パネルと弁当レプリカおよび提供弁当見本の様子である。



展示パネル



パネル及びレプリカ・サンプルの展示



市販用弁当・再現弁当のレプリカ

参加者が揃い、やまぐち歴食研究会五島淑子会長の挨拶で歴食部門（グルメイベント）を開始した。その後やまぐち歴食研究会会員により、参勤交代弁当に関する解説を行った。再現弁当と今回提供した弁当の献立紹介を幹事の園田が担当し、実食に移った。実食中、樋口稔副会長からは調理法に関し、森永八江幹事からは栄養学的見地より解説を加えた。また、毛利敬親にまつわる食のエピソードや幕末の食について、石永雅子幹事がパワーポイントを用いて詳しく紹介を行った。エピソードとして取り上げた幕末サイダーに関連し、飲み物は煎茶の他に長州サイダーを準備した。実食後、質問等を受け、アンケートへの記入の済んだ参加者より解散となった。アンケート結果の一部を以下に示す（表1～表7及び意見・感想の自由記述）。



熱心に聞き入る参加者



会場の様子

### 【参加者アンケート結果】

表1 グルメイベント参加者の住まい

住所	回答数	割合(%)
山口県内	41	97.6
山口市内	( 20 )	( 47.6 )
山口市以外	( 21 )	( 50.0 )
山口県外	1	2.4
	42	100.0

表2 グルメイベント参加者の性別

性別	回答数	割合(%)
男性	15	35.7
女性	27	64.3
	42	100.0

表3 グルメイベント参加者の年齢

年齢	回答数	割合(%)
20代	1	2.4
30代	1	2.4
40代	6	14.3
50代	14	33.3
60代	12	28.6
70代以上	8	19.0
	42	100.0

表4 お弁当の感想

Q、お弁当の味はいかがでしたか？		
	回答数	割合(%)
とてもおいしかった	27	64.3
まあまあおいしかった	14	33.3
どちらでもない	0	0.0
あまりおいしくなかった	0	0.0
まったくおいしくなかった	0	0.0
不明	1	2.4
	42	100.0

表5 お弁当カードの評価

Q、お弁当のカード(説明含む)はいかがでしたか？	回答数	割合(%)
とても良かった	34	81.0
まあまあ良かった	7	16.7
どちらでもない	0	0.0
あまり良くなかった	0	0.0
まったく良くなかった	0	0.0
不明	1	2.4
	42	100.0

表6 お弁当の満足度

Q、このお弁当は満足できるものでしたか？	回答数	割合(%)
とても満足した	30	71.4
まあまあ満足した	11	26.2
どちらでもない	1	2.4
あまり満足しなかった	0	0.0
まったく満足しなかった	0	0.0
不明	0	0.0
	42	100.0

表7 今後の企画に対する参加意欲

Q、このような企画があればまた参加したいと思いますか？	回答数	割合(%)
とても思う	31	73.8
まあまあ思う	10	23.8
どちらでもない	1	2.4
あまり満足しなかった	0	0.0
まったく満足しなかった	0	0.0
不明	0	0.0
	42	100.0

イベントで提供した毛利公の参勤交代弁当  
(防長苑製)

## 意見・感想 (原文まま)

## ●弁当について

- ・お弁当は一つ一つ丁寧に作られ品のよいものでした。
- ・新幹線の駅や車内で販売するのいいと思います。駅だと多少高くても買ってもらえそう。スーパーやコンビニなどでは500円以下でないと売れないと思う。
- ・しいたけ、こんにゃく、昆布はだしが効いてとても美味しかった。増量してほしい。かまぼこは当時はこんなにパサパサだったのですか。貴重な体験ができてよかったです。ありがとうございました。
- ・かまぼこと卵焼きが特においしかったです。ありがとうございました。
- ・ナスのからしあえが少し辛すぎたかなと思います。平成大内御前を気軽に食べたいです。
- ・メインの蒸しかまぼこはとても美味でした。現在の焼きかまぼこと随分違いますね。特産品として作ってもよいのでは。
- ・手間のかかった手作り弁当ご馳走様でした。たくあんは既製品でしょうか。それだけ濃い味で…。せっかくの他の美味しさももったいないと思いました。
- ・このお弁当は今日のように説明があれば(イベント)この値段でもよいと思う。単独では厳しい。業香亭で食べられる、説明があるとかになれば旅行会社などに商品で売ることも可能。でも楽しかったです。ありがとうございました。

## ●企画について

- ・歴史ウォークと歴史と山口の歴史を知るよい機会となりました。
- ・とてもユーモアに満ちた説明と案内でとても参加してよかった。
- ・ウォーキングもグルメイベントも主催者側の熱意が伝わりました。
- ・明治維新150年という記念すべき年にこうしたイベントに参加できてとてもよかったです。

健康であれば各所めぐりに又参加したいと思います。ありがとうございました。

- ・歴史散歩と歴食をミックスしたイベントはよかった。（古地図で当手を想定したうえで当時の弁当を食べることができたので五感で幕末を感じることができた）
- ・とても楽しい企画でした。またこのような歴食+古地図ウォークをやってください。
- ・歴史を味わう企画は新鮮で楽しめました。井上かおるの還暦祝い膳とかできませんか。
- ・ラムネの話が面白かった。ウォーキングツアーもう少し人数を増やしてほしい。
- ・毛利だけでなく他の大名の参勤交代やいろんな人の道中日記ももっとよく見たら楽しい発見があるかもしれませんね。
- ・毛利敬親展を鑑賞する前に御屋形跡などを見て参勤交代弁当を頂いたのととてもたのしみをもって行かれそうです。多くの方々の努力に感謝致します。どうもありがとうございました。
- ・初めて参加しましたがお話聞きながらなのでとても楽しく歴史に浸ることができました。ウォーキングは参加できませんでしたが、このような機会があれば参加したいです。
- ・日頃山口県内に居住しておりますが、なかなか郷土の歴史、史跡を巡ることがありません。また、大内、毛利の時代の食の体験をすることはめったにありません。このような企画は珍しく地元の人も楽しめるイベントです。次回もぜひ参加してみたいです。冬の歴食はどんなものでしょうか。
- ・明治維新150年が終わっても今日のような企画はこれからもいろいろとやって頂きたいと願っています。

## おわりに

従来の古地図を使用した街歩き・史跡探訪に、歴食を組み合わせたオリジナル講座の報告を終えたい。全体としてまだまだ改善点もあるが、概ね満足のいただける講座に仕上がったのではないと思う。今後も、古地図や古文書などの歴史資料を基本とし、それらに関係深い内容を組み合わせた、更なる魅力を持った講座を企画・運営して行きたい。

終わりに、本講座の開催に格別の御協力をいただいた、やまぐち歴食研究会の五島淑子会長、樋口稔副会長、石永雅子、北島大輔、森永八江各幹事、山口市交流創造部参事兼文化交流課歴史文化のまちづくり推進室長古賀信幸、山口市菜香亭藤村成生、防長苑、山口県立大学看護栄養学部調理学研究室、山口大学教育学部美術教育教室中野研究室、ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会の皆様ほか関係各位に厚く御礼申し上げます。

## 参考文献

- 1) 兼重慎一講演「長州藩財政史談」（『防長史談會雑誌』第4巻第32号P41）、防長史談會編、国書刊行会、1976
- 2) 『日本料理秘伝集成』（全19巻）平野雅章他編、同朋社出版、1985
- 3) 『聞き書 山口の食事』日本の食生活全集35、中山清次他編、農山漁村文化協会、1989
- 4) 『日本料理由来事典 上・中・下』川上行藏・西村元三朗監修、同朋社出版、1990